



Integrating
the Healthcare
Enterprise

IHE勉強会 ー概要とVisionー

2.6 病理・臨床細胞領域 PATH

日本IHE協会 病理・臨床細胞委員会

近藤 恵美

もくじ

- 病理・臨床細胞領域における活動
- IHE PaLM
- 病理・臨床細胞領域の最新動向
- IHE PaLMが目指す世界

もくじ

- 病理・臨床細胞領域における活動
- IHE PaLM
- 病理・臨床細胞領域の最新動向
- IHE PaLMが目指す世界

病理・臨床細胞領域における活動①

- 2006年
 - 病理・臨床細胞委員会発足
- 2008年～:
 - JAHISとの連携
 - 病理・臨床細胞領域のトランザクションを日本語で解説した『JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約』作成
- 2010年
 - Anatomic Pathology Technical Framework翻訳

病理・臨床細胞領域における活動②

- 2003年頃～：国際会議への参加
 - IHE AP、DICOM WG26への参加
 - 2016年～、IHE PaLMに臨床検査委員会と協調して参加
- 普及活動
 - 日本デジタルパソロジー研究会
 - 年次総会で活動報告やテクニカルフレームワーク配布
 - 日本病理学会総会
 - 標準化動向について口演
 - 書籍への投稿

もくじ

- 病理・臨床細胞領域における活動
- IHE PaLM
- 病理・臨床細胞領域の最新動向
- IHE PaLMが目指す世界

IHE PaLM①

● IHE PaLMとは

- 元々は、日本と同様「IHE-LAB（臨床検査領域）」と「IHE-AP（病理・臨床細胞領域）」の2つのドメインに分かれて活動していました。
- 海外においては参加者が重複していることに加え、スコープや資産に共通な部分があることから、2016年1月～「IHE-PaLM」として活動を開始しました。

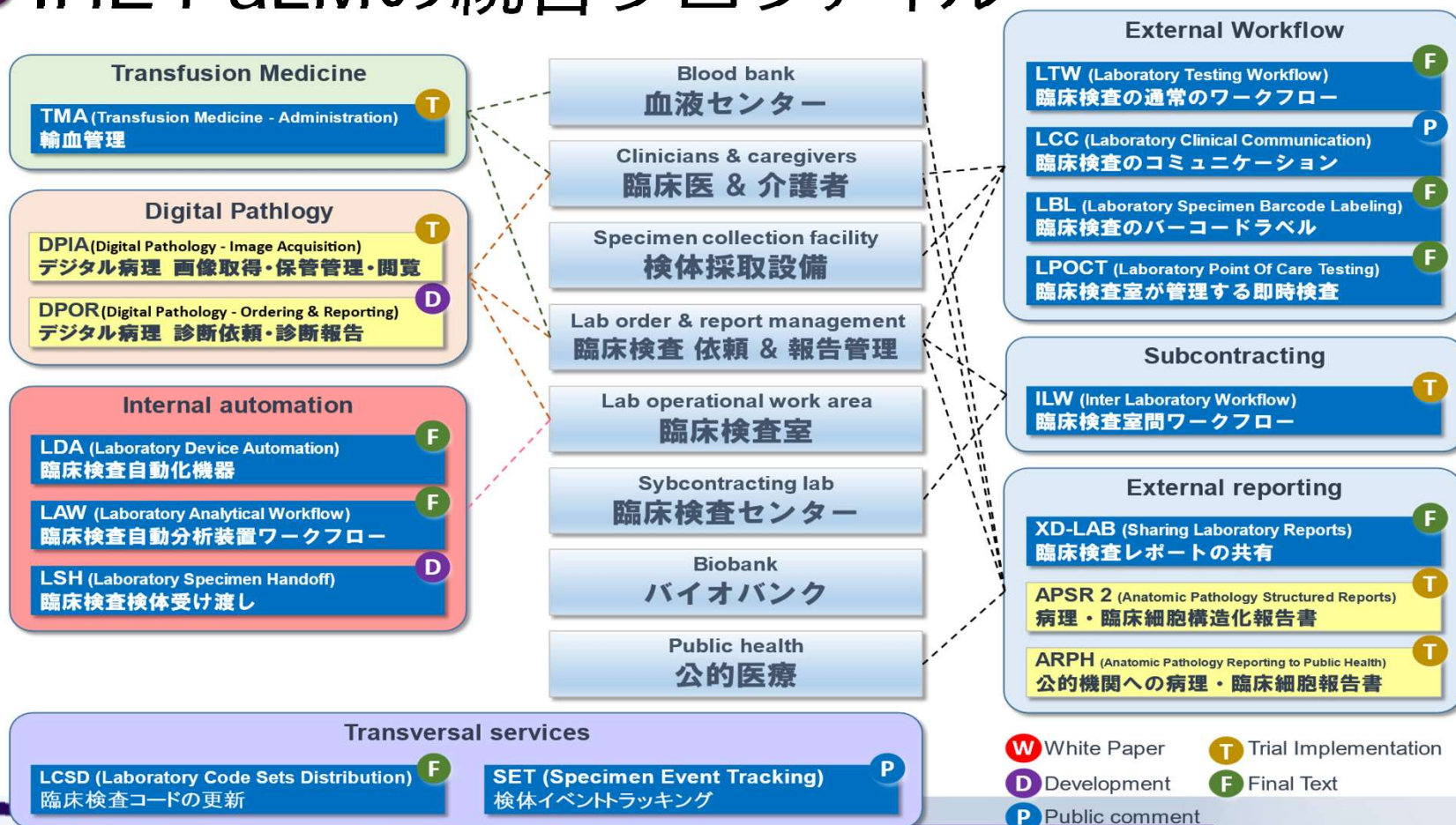
IHE PaLM②

● IHE PaLMのスコープ

1. 患者から収集された標本に対してのオーダ発行、スケジューリング、オーダ実施、診断書作成に関連するデジタル構造化データ、文書、画像の表現およびデータ交換
2. 標本管理(準備、輸送、ハンドオフ、分注、保管、検索)に関連するデジタル構造化データの表現および交換
3. 診断結果の二次利用と交換
4. バイオバンクにおける検体の診断に役立てた保管と再利用

IHE PaLM^③

● IHE PaLMの統合プロフィール

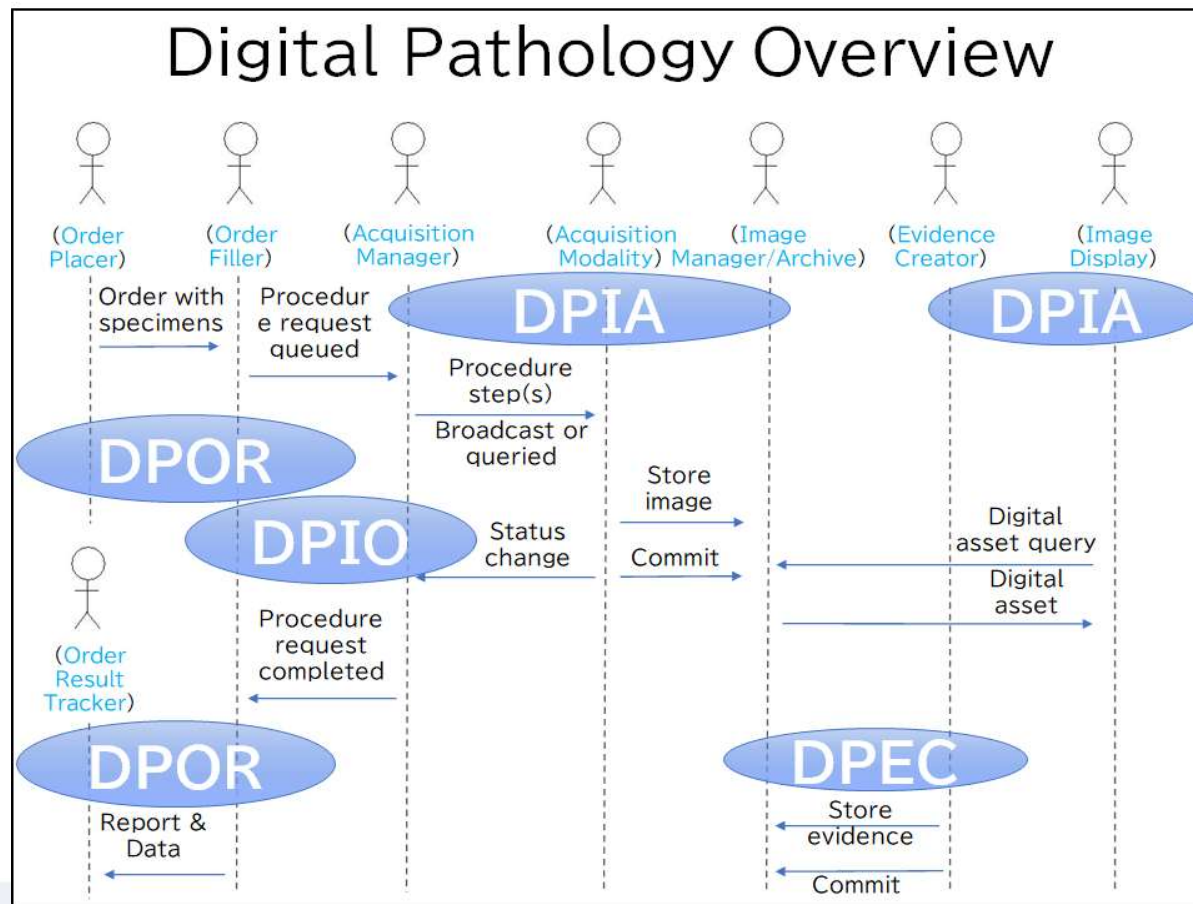


もくじ

- 病理・臨床細胞領域における活動
- IHE PaLM
- 病理・臨床細胞領域の最新動向
- IHE PaLMが目指す世界

病理・臨床細胞領域の最新動向①

● デジタルパソロジーワークフロー



病理・臨床細胞領域の最新動向②

- 現在、検討が進められているワークフロー

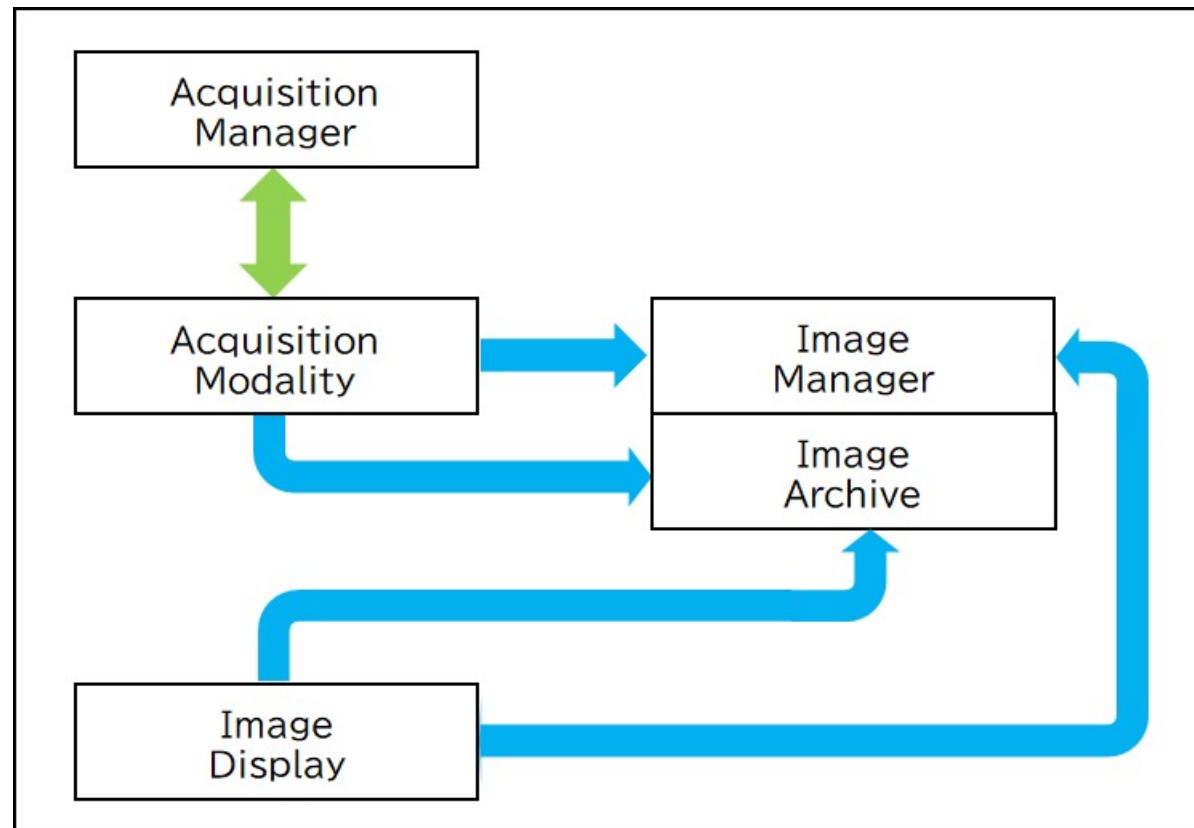
- DPIA:Image Acquisition

- モダリティ=WSI:Whole Slide Image生成装置からの画像取得、ストレージへの保存・管理、画像表示に関するワークフローを定義

- DPIO:Image Ordering

- AP-LIS:Anatomic Pathology - Laboratory Information System=病理・臨床細胞部門情報システムからモダリティへの画像取得オーダ送信とモダリティからの画像取得通知に関するワークフローを定義

DPIAの概要①



Acquisition Manager:画像生成管理システム=ここでは病理部門システムを想定

Acquisition Modality:モダリティ=ここではWSIスキャナを想定

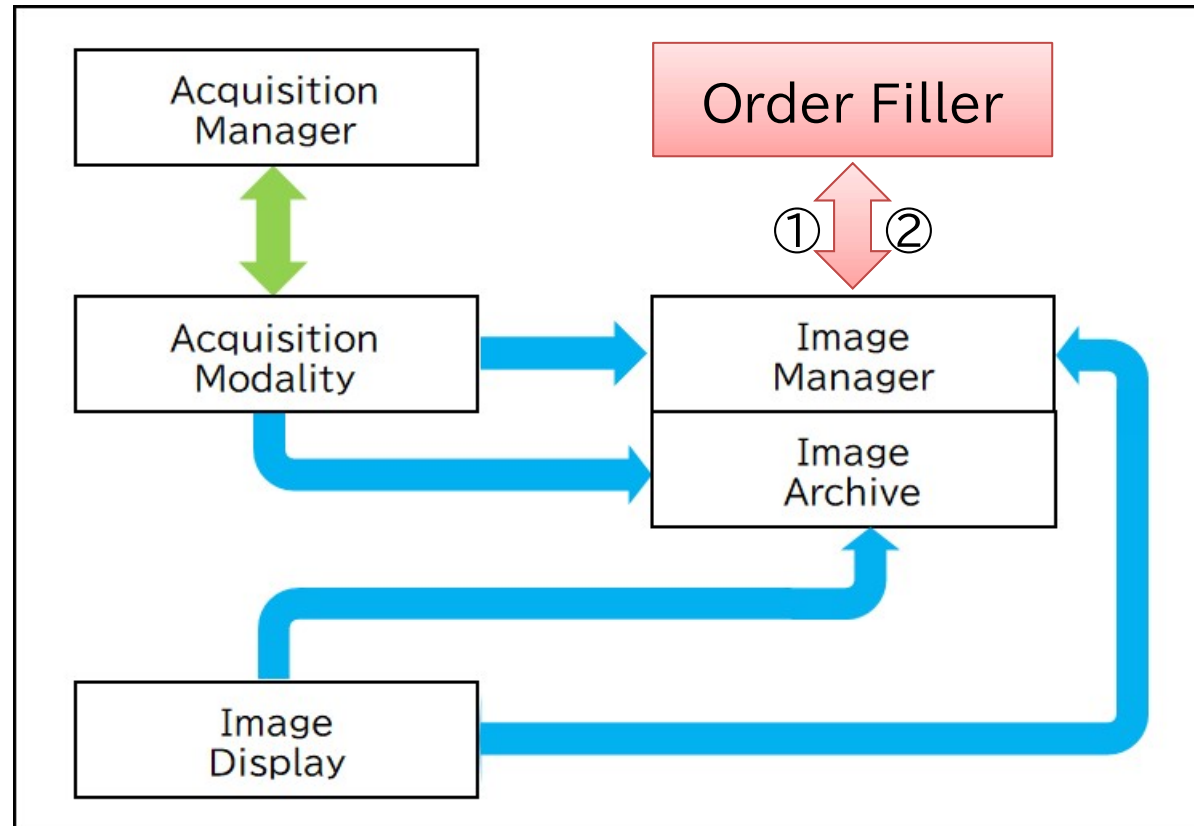
Image Manager/Image Archive:画像管理・保存=ここでは画像管理システム/PACSを想定

Image Display:画像表示=ここではWSIビューワーを想定

DPIAの概要②

アクタ	役割
Acquisition Manger (画像生成管理システム)	<ul style="list-style-type: none">・モダリティ(性能)の確認・画像生成指示・画像生成状態の管理
Acquisition Modality (モダリティ)	<ul style="list-style-type: none">・画像生成・画像生成状態の伝達・画像管理・保存への画像送信
Image Manager/ Image Archive (画像管理・保存)	<ul style="list-style-type: none">・画像管理・画像保存
Image Display (画像表示)	<ul style="list-style-type: none">・画像検索要求・画像表示

DPIOの概要



Order Filler: オーダー実施 = ここでは病理部門システムを想定

- ① Order FillerからImage Manager/Archiveにデジタル画像生成依頼を送信
- ② Image Manager/Archiveからデジタル画像生成完了 = 参照可能状態を送信

病理・臨床細胞領域における活動①

- 2006年
 - 病理・臨床細胞委員会発足
- 2008年～:
 - JAHISとの連携
 - 病理・臨床細胞領域のトランザクションを日本語で解説した『JAHIS病理・臨床細胞データ交換規約』作成
- 2010年
 - Anatomic Pathology Technical Framework翻訳

もくじ

- 病理・臨床細胞領域における活動
- IHE PaLM
- 病理・臨床細胞領域の最新動向
- IHE PaLMが目指す世界

IHE PaLMが目指す世界

IHE PaLMでは、最終的にデジタル病理画像を利用して外部のセカンドオピニオンを受けるところまで想定して、検討が進められています。

このままデジタル病理診断関連のワークフローが充実し、それらが活用されるようになれば、施設をまたいだデジタル病理画像による病理診断が可能になると考えています。

ご清聴ありがとうございました。

**ご質問は、
日本IHE協会ホームページまで。**